



木田小だより

すずかけ



福井市木田小学校
令和8年10月

2学期がスタートです。 「聴くことは相手を大切にすること」

10月14日(水) 2学期始業式 校長の話

みなさん、おはようございます。

秋休みが終わりました。短い休みだったかもしれませんが、少しゆっくりできましたか?みなさんが、元気に今日学校に来てくれたことをうれしく思います。

さて、今日は「聴く」ということについてお話します。

「聴く」場面はたくさんありますね。「先生の話聴く」、「お友達の発表を聴く」、「グループ学習で人の考えを聴く」これ以外にもお家で家族の話聴くなど、色々な場面で聴くことがあります。



「きく」という言葉を漢字で書いてみましょう。私がみなさんにお話ししたい漢字は「聴く」です。この漢字には、耳だけでなく目と心という字が入っていますね。心で聴くとは「この人は、何を伝えたいのかな」「どんな気持ちで話しているのかな」そんなことを考えながら聴くことだと思います。

私は、「聴く」時に三つのことを心がけています。

一つ目は、話す人の方を見ることです。話している人の方に体を向けて、目や顔を相手に向けてみましょう。

二つ目は、最後まで聴くことです。相手が話している途中で、自分の話を始めたり、「でもね」と口をはさんだりしないことです。相手が何を伝えたいのか、最後まで聴いてみましょう。

三つ目は、自分と違う考えもまず受け止めて聴くことです。「そういう考えもあるのか?」「どうして、そんなふうに考えるのかな?」と考えることは自分の成長にもつながります。

みなさん、一つ想像してみてください。

例えば、休み明けの日に友達に楽しかったことを話したくなりました。「ねえねえ、聞いて! 昨日ね……」ところが、友達は返事がありません。もう一度話しかけても、こちらを見てくれません「私の話、聞いてくれないんだな」と残念な気持ちになる人もいるでしょう。

では、反対に、友達が体をこちらに向けて、「うん、うん。それでどうなったの?」と聴いてくれたら、どうでしょう。きっと、うれしくなりますね。自分の話を聴いてくれる人がいる。それだけで、人は安心したり、うれしくなったりするものです。

つまり、人の話を聴くということは、その人を大切にすることなのです。先生の話聴くとき。友達の話聴くとき。お家の人の話聴くとき。みなさんも、さっき私の言った三つのことを意識してみてください。みなさんが話を聴いてもらってうれしいように、友達も、先生も、家族も、自分の話を大切に聴いてもらえるとうれしいですね。

き

聴くことは



あいて

たいせつ

相手を大切にすること

2学期が今日からスタートします。これからの学校生活でも「聴くこと」を大切にしていってください。そして、お互いに安心して自分の話ができる素敵な学校をみんなで作っていきましょう。

9・10月 ふれあい 体験 子どもたちの活動の様子



1年 校外学習
水族館に行きました。見学だけでなく魚にふれる体験もしました。



2年 校外学習
電車に乗って図書館の見学に行きました。書庫の本の多さにびっくり！です。



3年 社会
スーパーマーケット見学です。お店の人にたくさん質問をしました。



4年 総合
地区・市社会福祉協議会の方に教えていただきながら、車椅子体験をしました。



5年 音楽
講師を招いて、和楽器体験。箏の素敵な音色を響かせる貴重な体験をしました。



6年 キャリア教育
様々な職種の方のお話を聴き、「働く」ことを考える機会になりました。



おみこたさ学級
低学年は木田地区、高学年は鯖江市に校外学習に行きました。

☆ 令和8年度全国学力・学習状況調査について

4月に6年生対象に実施された全国学力調査の結果についてお知らせします。この調査は、毎年、国語・算数の「教科に関する調査」と、生活習慣や学習の状況についての「質問紙調査」が行われています。

平均正答率	本校	県	全国
国語	72	64	60.9
算数	68	57	56.4



国語、算数とも正答率は全国・県と比較して高くなっています。しかし、文章や図表から考察して、考えたことや答えの理由を説明したりする等の設問では課題も見受けられます。

本校では全職員で結果を分析して全校でより授業の工夫・改善に取り組んでいきます。また、質問紙調査の結果についても吟味し、楽しい学校生活、安全・安心な生活を送ることができるよう、指導・支援に生かしていきます。